

表彰区分	マロニエ建築・景観賞（建築物）	
作品名	陽だまり保育園	
所在地	高根沢町宝積寺鷺の谷 2062-1	
用途	保育園	
建物概要	構造：木造、一部鉄骨造	敷地面積：3,193.83 m ²
	階数：地上2階	延べ面積：823.79 m ²
建築主	高根沢町宝積寺鷺の谷 2062-1 社会福祉法人 陽向	
設計者	宇都宮市山本 1-3-14 株式会社安藤設計	
施工者	宇都宮市下栗 1-23-13 成常建設株式会社	

講 評

古民家を移築再生した保育園である。入口玄関を入ると土間空間に続く板の間の大広間を中心に幼児保育室と事務室が配される。古民家の雰囲気そのままに残す管理棟である。乳児保育室とホール（遊戯室）は敷地の高低差を利用して鉄骨造2階建とし管理棟と渡り廊下でつないだ。ホールは保護者のみならず地域住民にも開放される。木造民家を保育園とするために、法制度的には多くの困難があったが、そこまで木造古民家にこだわった訳は、保育園を訪問することで了解される。建設は新しいが、永く人の生活を受け容れた空間のぬくもりに満ちている。土間のたたき、土壁等を子どもたちや地域の人々とともに昔ながらの作業で創り上げた過程も、空間を心地よいものにしていく。藍染や草木染、かまどによるご飯炊き等、この空間を生かす活動も好ましい。このように、建設ならびに環境づくりが子どもや地域住民とともにある建築のあり方は、マロニエ建築・景観賞（建築物）にふさわしいものとして選考した。



表彰区分	マロニエ建築・景観奨励賞（建築物）	
作品名	ヨックモッククレア日光工場	
所在地	日光市土沢 1852-1	
用途	菓子工場	
建物概要	構造：鉄骨造、鉄筋コンクリート造	敷地面積：42,915.05 m ²
	階数：地上2階	延べ面積：19,589.77 m ²
建築主	日光市土沢 1852-1 株式会社ヨックモッククレア	
設計者	東京都新宿区西新宿 1-25-1 大成建設株式会社一級建築士事務所	
施工者	埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-10-16 大成建設株式会社関東支店	

講 評

長さ200メートル高さ11メートル強の垂直なプレートが日光の山並に向かって一直線に延びる圧倒的なスケール感。その左側には長さ190メートル、幅40メートルの菓子製造棟があり、右側は調整池を兼ねた庭園の先に、事務棟がプレートに直交して車寄せ通路を跨ぐ。大きな自然を背景に、機能的かつ明快な空間構成をもつ工場である。事務棟のブリッジは浮遊感をもたせるために吊り構造にして床厚を極力切り詰めた。事務棟のラウンジ、会議室、食堂の大きなガラス面は、菓子製品にちなんだフォルムを表現したカーテンにより日射と視環境の制御を行う。菓子製造棟では、外壁は金属材をプリーツ状に加工して覆うことにより、早朝から夕刻に至る光の移ろいに呼応して様相が変貌する。潜在植生を生かした敷地全体にわたる森づくりを意図し、社名の由来であるスウェーデンの自然あふれる地への原点回帰をめざす。こうしたことから、本作品はマロニエ建築・景観奨励賞（建築物）にふさわしいものとして選考した。



表彰区分	マロニエ建築・景観奨励賞（建築物）	
作品名	道の駅 しもつけ	
所在地	下野市薬師寺壱町田 41 他	
用途	道の駅	
建物概要	構造：鉄骨造	敷地面積：33,000 m ²
	階数：地上 1 階	延べ面積：2849.7 m ²
建築主	下野市小金井 1127 番地 下野市	
設計者	宇都宮市明保野町 2-10 株式会社荒井設計	
施工者	増渕・小林特定建設工事共同企業体、株式会社浜屋組	

講 評

新 4 号国道に沿う道の駅で、トイレ・地域情報棟と直売・物産館、加工施設、レストラン、コミュニティ施設（集会室）が入った地域振興交流棟から成る。後者は東西 100メートルにも及ぶ建物であるが、地域に点在する古墳のなだらかな曲線をイメージした屋根が印象的である。内部はアカマツのルーバーを梁間方向に配して、大空間を効果的に演出する。棟の西端には光の塔と呼ぶラウンジを置いて、国道からの視認性を高めた。外壁は結城紬をイメージする細い豎の線材、万葉色をモチーフにした壁面など、地域性の豊かな表現が太陽光パネルの最新技術と違和感なく調和する。他方、トイレ・地域情報棟では、男女のゾーンが地域情報ラウンジを挟む配置がとられ、機能性、快適性をめざした。イベント広場、芝生広場、物見塔は楽しいが、駐車場にやや問題を残す。とはいえ、多くの国道通行者および住民によって活発に利用される本作品は、マロニエ建築・景観奨励賞（建築物）にふさわしいものとして選考した。



表彰区分	マロニエ建築・景観奨励賞（建築物）	
作品名	特別養護老人ホーム 春わらう舎（いえ）	
所在地	小山市小山 1509-1	
用途	特別養護老人ホーム	
建物概要	構造：壁式鉄筋コンクリート造	敷地面積：2,826 m ²
	階数：地上2階	延べ面積：2,520 m ²
建築主	野木町佐野川 1785-1 社会福祉法人延寿会 理事長 正岡太郎	
設計者	東京都世田谷区豪徳寺 1-43-1 森ビル 4F HAN 環境・建築設計事務所 代表取締役 花田勝敬	
施工者	群馬県太田市別所町 332 関東建設工業株式会社 代表取締役社長 高橋君明	

講 評

60床を有する特別養護老人ホームである。10床（室）を単位とする個室ユニットケア方式の2階建て（鉄筋コンクリート壁構造）で、高さを抑え3～4室ごとに空間ボリュームを分節させる。周囲の戸建て住宅地に対して圧迫感を与えないこうした配慮が功を奏した。日射遮蔽の木製庇にはグリーンカーテンが施され、敷地内全般にわたる庭木や草花の植栽とあいまって緑豊かな景観を創り出している。木の化粧材を多く用いた落ち着いた色調の内装で、坪庭や中庭が内部に光を導く。外断熱、屋上緑化、太陽光発電、深夜電力利用などの環境負荷低減が多く試みられている。学童保育の小学生や保育園児も訪れて、人の交流の面でも地域に溶け込んだ本施設は、高齢者福祉施設にありがちな閉鎖感を和らげ、安らぎを醸し出している点でユニークである。こうした点を評価し、本作品は、マロニエ建築・景観奨励賞（建築物）にふさわしいものとして選考した。



表彰区分	マロニエ建築・景観奨励賞（建築物）	
作品名	大田原市立黒羽中学校	
所在地	大田原市北野上 3597 番地 1	
用途	中学校	
建物概要	構造：鉄骨造及び鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	敷地面積：55,985 m ²
	階数：地上 3 階	延べ面積：10,659 m ²
建築主	大田原市本町 1-4-1 大田原市	
設計者	宇都宮市一条 1-2-16 株式会社 都市環境建築設計所 代表取締役 神谷 五男	
施工者	宇都宮市築瀬町 2500-15 株式会社 増渕組 代表取締役社長 増渕 秋雄	

講 評

連続するハンマービーム様式の天井をもつ、やや屈曲した昇降棟が、キリスト教会の礼拝堂を彷彿とさせて大変印象的な中学校である。林業の盛んな土地柄を生かし、昇降棟をはじめ内部は木がふんだんに用いられる。建物配置として、南北に延びる昇降棟に直交して、東側は北から特別教室棟、普通教室棟、管理棟が並ぶ。西側は屋内体育館につながる。いわゆるフィンガープラン型で、敷地高低差を生かした明快な機能構成である。昇降棟南端は統合された旧 4 中学校の校旗が飾られたメモリアルホールである。鉄筋コンクリート造で勾配のある屋根を載せ、各棟の最上階は天井が高く変化のある内部空間とした。また、庇や軒を深くとって、窓や手摺り、支柱などで豊かな表情の立面を創り出しているが、大きく無表情なコンクリート打ち放し壁の広がる場所があつて惜しまれた。とはいえ、高い質の教育空間を実現させた本作品は、マロニエ建築・景観奨励賞（建築物）にふさわしいものとして選考した。

